



人間の動きCGで表現

関学理工学部 長田研究室

映画、テレビゲームなどで使用

「のだめ」のCG作成
作業を再現する長田教
授(中央)ら
兵庫県三田市の関西
学院大

と共同で、ピアニストの指に約60個のマーカーを張り、実際の演奏を13台のカメラで複数の角度から撮影するなど緻密な作業を行い、これまで技術的に困難とされていた楽器演奏時の指の動きを表現。曲と指が一致した臨場感あふれる映像が評判を呼んだ。

長田研究室には24人の学生が所属。今後は楽譜を認識させるだけで自動的にCGを作成する技術の開発などに取り組むこととしており、長田教授は「CGを通し、豊かで楽しい生活の実現を目指したい」と話している。

系)の中の、主人公・野田恵がバリでピアノを演奏するという重要な場面で使われるCGを作成。
同学部の巴波弘佳研究室

関西学院大学理工学部(兵庫県三田市)の長田典子研究室が、人間の動きをコンピュータグラフィックス(CG)で表現する「モーションキャプチャ」の実用化に取り組んでいる。

光などに反応するマーカーを人間の関節に張り付け、マーカーの位置を解析してCGを作成する仕組み。リアルな動きの表現が可能で、主に映画のアクションシーンやテレビゲームなどで使用されている。

同研究室では昨秋、制作会社から依頼を受け、人気アニメ「のだめカンタービレ巴里編」(関西テレビ